



かえでゆうびん 3月号

気がつけばもう3月。今年度最終月になってしまいました。今月のかえでゆうびんでは各クラスからのメッセージが、担任の一年間の思いやお子様の成長を振り返ると思い出が多すぎて書ききれないほど・・・。大人の一年とお子様の一年とはこんなに違うのかと思うほど目まぐるしく成長されます。

先日園庭での一コマ。4月、入園されて少し立った日、園庭で抱っこされ不安そうにしていたためばえのお子様もしっかりと裸足で一人で歩き、ピオトープへ一目散！ どうするのかそっと見ていると一生懸命に背伸びをしてコップとじょうろを取り水のたまったところから水をくみ出そうとしていました。少し浅かったことに気づき、水が勢いよく流れているところまでで移動。じっと見つめながらひたすら水をためることを繰り返し繰り返しかえし行っていました。

何気ない子どもの動作ですが、この繰り返し納得いくまで自分で行うことの経験はこれから様々なことに自分で考え自分で行動をおこし、発見することにつながっていきます。

子どもの技術の習得や考えは自分より大きいお友達のしていることを観察し、模倣することから始まります。兄弟がいなくても毎日保育園生活の中で、上の子どものしていることをじっと見て覚えて次はやってみようというこの繰り返しから、ある日できるようになる。この様子はかえで保育園での代表的な遊びでは、一本下駄・竹馬・鉄棒・サクランボ・縄跳び、コマ、けん玉など、子どもには大人気の遊びも知らず知らずのうちうまく伝授され、遊びが引き継がれていきます。

寂しいですが3月17日に16名のだいち組の卒園式を執り行います。だいちさんも長い保育園生活で自分のものとなった技術や考え方をこの先の人生にきつと役に立つことがたくさんあると確信しています。これはにわかに習った英語などとは比べ物にならないほどしっかり根付きます。

どうぞ3月はわが子の一年を振り返り、上のお子様の様子を観察しご自分のお子様の成長をイメージしてみてください。

保育事業では保育所保育指針が改正となり保育の基本的考え方が子ども自らが自分のやりたいことと思うことを引き出す教育・保育が中心となります。かえで保育園ではほとんど保育内容の変更はありませんが、指針の中に『幼児の環境で保育園内の行事において国旗に親しむ』『文化の伝承に親しむ際、国家・唱歌・わらべ歌やわが国の伝統的な遊びに親しむ』などが内容に含まれました。かえで保育園でも今年から、卒園式の際に『君が代』を導入します。式の始まる前にゆっくりとした「君が代の曲を聴く」ということとかえでカフェで作ってもらった園のマークの横に『日の丸』を飾ります。これは、日本の文化を知ることと自分の国の国旗にも興味を持つことにもつながっていきます。

4年後の日本で行われるオリンピックにも関連する国民が日本を意識することに関連していきましょう。この場を借りてお知らせいたします。

平成29年度が終わりに近づき、職員一同今年一年を振り返り次年度30年の保育を進めていきます。アンケート結果や日々のご意見を反映できるよう会議や話し合いを進めています。30年度も楽しい保育園生活が進められるように努めます。宜しくお願いします。

また、今年一年を振り返るとまた、保護者の方々のお手伝いや、理解、協力があつたからこそ、気持ちよく教育・保育が進めてこれました。感謝いたします。かえでカフェやダンディタイムのお手伝いは他の保育園からは素敵な集まりですねと高評価をいただきました。何より保護者の方が集まって子どもたちのためにお手伝いしてくださったり、こどもたちが保育園で過ごす遊びの環境を考えてくださったり・・・とても素敵な集まりに感謝します。

感謝をこめて下記の予定で集まります。

かえでカフェの集まり 3月28日(水) 16:30~18:00
お子様は保育をしますので18時までとなります。
ダンディタイム集まり 3月31日(土) 16:30~19:00
お子様の参加はできません。



皆様どうぞご参加ください
改めてお便りを出しますので参加の有無をお返事ください。

にこにこメッセージ♪

春がすぐそこまで来ています。園庭には暖かい風が吹き始めています。春を待ちきれない子どもたち、水や泥んこを使っての遊びが始まりました。大人はまだまだ寒さから抜け出せませんが、子どもたちのかえでならではのあそびはもう始まっています。

さて、秋頃から幼児クラスで流行り出したコマあそび、だいちさん数人から始まりましたが見よう見真似で、すぐに回せた子もいれば、「先生できないからひもだけして」と言う子、私は左利きで反対だからという、仕方がないと諦め自分でやり始める子、「〇〇ちゃんが上手だからよーくみてごらん」のアドバイスはします。できなくてイライラしている子には、見守り、励まし、「あと30回とか…50回ぐらい練習したら、きっとできるようになるよ」と声かけします。先日も「30回練習したらできるようになったよ」と嬉しそうに報告しにきてくれる子がいました。「先生いっしょにしよう」とお誘いが、久しぶりに参加すると、いぶきやひかりの子たちもコマ回しを楽しむ子が増えていました。だいちさんの中には手に乗せる技も何種類か挑戦しています。自分だけではなく友達が、できたときは共に喜び、なかなかできなくて何度も挑戦する姿は頼もしく「大丈夫できるよ!」と応援しながらも、私も共に楽しんでいきます。諦めずにやり抜こうとする粘り強さに大きく成長した姿をみることができました。「できるまでがんばる」そこに楽しさを感じられるようなあそびの環境をもっと作っていきたいと思っています。

主任保育士 藤森寿美

せんせいからのおはなしコーナー

昨年の11月に神戸マラソンにチャレンジしました。趣味で始めたマラソンは6年になりますが、毎回応募しても落選してしまい、今回当選した時は喜びと同時に完走できるかな... と少し不安な気持ちにもなりました。当日スタートしてたった5kmほどしか走ってしまいの、急に今まで味わったことのない左膝に激痛を感じ、「ゴールは難しいかな」と半分諦めかけた時「頑張りましょう、ここからですよ」「負けたらあかんで」など一緒に参加していたランナーの方々や、沿道で応援しているの方々からのたくさんの声援をかけたいただきました。すると感情が高ぶるにつれすっかり痛みは無くなり、また走り出すことができました。時に言葉には、心の底から気持ちを奮い立たせてくれたり、人を何倍にも元気にしてくれる不思議なパワーがあるんだと強く実感し、ゴール寸前での声援に涙腺がゆるんでしまいました。また次に参加するマラソンで、もし同じような人を見かけたら今度は自分が声をかけて誰かを後押しできるようになりたいです。子どもたちにもそんな優しい気持ちで接することを大切にしたいと思います。そして応援に來れなかった妻や娘に今度はかっこいい姿を見せたいと思います。

河田 泰隆

～ めばえ・ふたば お知らせ・お願い ～

- ・ 移行保育に向けて子どもたちが自分で着替えを出しやすいうようにロッカーの中の整理整頓をお願いします。
- ・ 服や靴下などに名前の記入の再確認をお願いします。

～ つぼみ・幼児 お願い ～

- ・ 園庭用の厚手の上着はお持ち帰りください。

～ 幼児 お願い～

- ・ 登校園の準備はお子様が自分で出来るように見守ってあげてください。
- ・ 登園帽子は一度持ち帰り洗濯してください。

～めばえぐみ～

ねらい：「新しいお部屋に慣れる・見守ってもらい自分でしようとする」

う た：「おはながわらった」わらべうた：「オヤユビネムシ・イッチクタッチク」

先月は園庭に氷ができたり、雪が降ったり、めばえ組の子どもたちも冬の自然に触れることができました。この寒さを乗り越えてとても遅くなり冷たい風が吹いても笑って身体を動かして遊んでいます。めばえ組で過ごす最後の1ヶ月となりました。ふたば組への準備のためふたば組のお部屋で過ごすことも増えていきます。先生と一緒にしてきたことを次は先生に見守ってもらいながら“じぶんで”を楽しめるようにしていきます。抱っこをしていた子どもたちと次は、手を繋いで隣で一緒に歩いて行き、成長を見守っていきます。

“つめたいね さむいね”

2月は寒さが厳しく外にでるかどうかが悩む程でしたね。子どもたちもはじめは寒さに驚いてかたまって先生のところに集まって温まっていました。でも、雪が降ったり、大きな氷を触って冬の自然に出会い寒さよりも外の楽しさを感じ始めた日になりました。2月後半には日差しもあり寒さがゆるむと上着を脱いで、裸足でも平気で遊べる程に身体も強くなってきました。



“いっしょいっしょ たのしいね”

4月から一緒に過ごしてきた9人のめばえ組の子どもたち。入園当初は、“せんせいと”と先生にぴったりとくっついて安心していました。ですが、少しずつ毎日一緒に過ごすお友達に興味を示すようになり最近では、みんなの名前を一生懸命覚えようとしています。そして一緒に過ごすお友達と朝、にっこりと顔を見合わせて喜ぶ姿もみられるようになりました。外でお友達とおいかけっこをしたり、同じカップをもっていっしょいっしょとまねっこをして遊んで大笑いする可愛い場面もよく見られます。



“ねえ、おねえちゃん。ねえ、おにいちゃん”

保育園の中では一番小さいクラスということもあって、お兄ちゃんお姉ちゃんが毎日「おはよ～」と挨拶をしてくれたり、にっこりとめばえ組の子どもたちが笑うと「かわいい」とほっぺたをなでなでしてくれます。そのやりとりをくり返しているうちにお姉ちゃんたちと過ごす時間も大好きな子どもたちです。手を繋いで歩いたり、絵本を読んでもらったり、隣にそっと居て見守ってくれたり…兄弟のようにゆったりとした温かい時間を過ごしています。



“担任の思い”

あっという間にめばえ組で過ごす最後の1ヶ月になりました。初めて保護者の方と離れて過ごす園生活。子どもたちだけでなく、保護者の方も同じようにドキドキしていたのではないのでしょうか。担任として安心して過ごせる空間を大切に1年間過ごしてきました。担任から離れて一人で遊ぶ子どもの背中をみるとこの1年の成長をととても感じるすることができます。この一年間めばえ組で、ゆったり担任と共に過ごす時間が、これからかえで保育園で5年間過ごす中で、安心でき温かい関わりの経験となるように最後まで一人ひとりに寄り添っていきます。

足立真裕子・宝田聖美・林千紗

～ふたばぐみ～

ねらい：「友だちと一緒に遊ぶことを楽しもう」

う た：「はるがきた」「どんないろがすき」「グーチョコキパー」

わらべうた・手遊び：「そうきん」「なべなべそこぬけ」「さよなら」

2月は暖かかったり雪が降るほど寒かったりと気温の変化が激しい1か月となりましたが、子どもたちは大きく体調を崩すことも少なく元気に過ごすことができました。この1年、毎日の外遊びの中で暑さや寒さを感じながら逞しい身体作りができたのだなと嬉しく思います。



～おにだぞ！～

2月の発表会后、子どもたちが気になっていた「おに」がふたば組にもやってきました。鬼が来ると先生のそばに集まり「こわい～」と言ったり、棚の陰に隠れたりしながら必死に身を守る姿が何とも可愛らしい1日でした。

ランチルームにでかけ、鬼をやっつけるべく幼児クラスの子どもたちと一緒に豆まきをした子もいました。節分以降もなにかと「おにさんくるで」

「おにわそと」と「おに」の事が忘れられない様子のふたば組の子どもたちでした。



～いっしょに～

ついこの間までは一人ひとりでの時間が多かったふたば組の子どもたちでしたが、今は何をすることも「〇〇くんと」「せんせいと」という声が聞こえてきます。1年間みんなと過ごす中で言葉でのやり取りができるようになり、コミュニケーションが増えていく中で「ともだち」など自分以外の人と関わることの楽しさを知りました。外遊びの時は「いっしょにあそぼ」、トイレに行くときは「〇〇ちゃんも～」と一緒に



に頑張り、ご飯を食べている時は「みんなでたべるとおいしいね」、そんな声でいつも溢れているふたば組です。大きくなっても、友達の大切さを忘れずに仲の良いみんなでありたいと感じています。

“担任の思い”

ふたば組の子どもたちと過ごし気が付けばもう3月、あっという間の1年でした。春には「できない」といって先生に食事を食べさせてもらったり、着替えを手伝ってもらったりしていた子どもたちが、今では「自分で」と進んで自分の事をするようになりました。少し難しい部分も粘り強く挑戦したり、困っているお友達に気付き「どうしたの?」「つぎは〇〇だよ～」と気遣ったりする姿も多くみられるようになり、日々成長を感じています。言葉もたくさん話せるようになり、子ども同士とのコミュニケーションも増え、友だちと過ごすことの楽しさや嬉しさを感じながら過ごせていることや、自分たちより小さな子にも「いっしょにあそぼ」「こうすんだよ」と気にかけて、優しく接している姿を見ると、素敵なたつぽみ組になれるのだろうなと実感しています。

西口智子・木下明友美・星加由美子

ねらい：「自分の思いを伝え合い、友だちとの関係を深めていく」

う た：「かえて保育園園歌」「はるがきた」

2月にあった、せいちょう発表会では、今までつぼみ組で過ごした中で子どもたちが楽しんでいたことを、ごっこあそびで表現しました。普段の遊びのなかでも楽しんでいた内容だったこともあり、「これほしい!」「こんなこともほしい!」と子どもたちからもたくさんの声が上がりました。なかでも、最後に全員で登場した“ういちゃんかつぼみちゃんの誕生会”が心に残ったようで今でも服を洗濯したり、お風呂や家を積み木でつくったりと遊びに繋がっています。

3月でも今までの遊びを継続しながら、いぶき組にむけて、あそびや生活が少しずつ変わっていきますのでお楽しみに。



“どんな色が好き?”

春から遊んでいた絵の具遊びを保育室に飾っています。少しずつ色を変えながら遊んでいたのですが、ふと飾っている絵を見た時に、「青がない…」と呟いた子どもがいました。そこで、急遽その日は絵の具遊びの日になりました！今までに何度も絵の具遊びを経験してきたことで、色の混ざりに興味を持っていた子どもたち。「青色だけでいいの?」と聞くと、「紫つくりたいから、赤もちょうだい。」と話していました。大人が何も言わなくても、色と色の混ざり方を理解していてとても驚きました。



ローラーや刷毛を使って遊んでいましたが、手や足でペタペタして楽しむ子ども…。次の日も「また絵の具したい!」とのことで、電車に絵の具をつけて線路を描きました。4月の初めは手に絵の具が付いただけで嫌がる子どももいましたが、今では「絵の具大好き!」と話しながら楽しんでくれるようになりました。

“もうすぐ いぶき組!”

4月からいぶき組!ということで、発表会がおわってから、ランチルームでおやつを食べています。今まで昼食もランチルームで食べていましたが、最近では

自分が座る椅子を準備したり、おやつときにはお皿やコップを自分の席まで運びます。最初は牛乳もこぼしながらでしたが、いまでは両手でしっかり持って、そーっとそーっと運んでいます。

自分でできることが、少しずつ増えていくことが嬉しいようで、

「見てみて!こんなこともできるよ!」と、たくさん報告してくれます。またひとつ大きくなるのが今から待ちきれないようです。



“担任の思い”

4月のことを思うと今までが本当にあつという間で、もうすぐいぶき組になることが楽しみな反面、お兄さん、お姉さんになったなと少し寂しい気持ちもします。自分で着替えられるようになったり、苦手だった野菜がたくさん食べられるようになったり、お世話あそびが上手になったり、友だちと遊ぶことを楽しいと思えるようになったり…。この一年間でできることがたくさん増えたつぼみ組。残すところあと一か月ですが、この一年を振り返りながら、一緒に楽しく過ごしていきたいです。

ねらい：「お兄さん、お姉さんにあこがれをもつ、自分でやってみようとする」

う た：「きみたちきょうからともだちだ・園歌」

早いもので、幼児のお部屋で過ごして1年経ちました。あっという間のいぶきぐみ。この1年間で出来るようになったこと、分かるようになってきたことを積み重ね、次はもうひかりぐみですね。春は初めてのお部屋でドキドキだったいぶきさんが、今ではもう「つぎはあれやろう」「もうおあつまりのじかんかな？」と自分たちのやりたいこと、すべきことを考えて過ごしています。色んなことに興味を持ち続けて挑戦してきましたね。

“おともだちがないてる！”



園庭ではカエルの砂場の蓋に乗って盛り上がるいぶきさん。蓋の上には4人でいっぱいになっていました。一人が「ひっぱるよ～」と蓋を引っ張ろうと外に出ると、空いたところに別のお友達が乗りました。最初は全員楽しそうでしたが、しばらくすると引っ張っていた子の表情が曇りはじめました。もう戻ろうと思って「のせて」と言っても誰も乗せてくれないのです。その子は少し

離れたところで静かに泣き始めてしまいました。乗っているお友達は気付かない様子。保育者が「あれ？Aくん泣いてるのかな」と言うと気持ちが動いたのか「Aくんもおいで」と声を掛ける子が出てきました。しかしAくんは「もういい…」とまだ悲しそうです。

すると、他の子が「ならカエルさんのところとつなげればいいんじゃない？」とカエルの蓋とカエルの砂場の入れ物を繋げることを提案



します。「そうしよう！」とみんなで蓋を持ち上げて繋げることができました。繋げたことで蓋と入れ物に入れる場所は倍になり、Aくんも入れるようになりました。「しゅっぱつしますよ～！」「ここならはいれるよ！」と楽しそうにしているのを見てAくんの表情も少しずつ明るくなっていきました。

今までは「自分」だけだった世界が「お友達」を交えた世界へと変化していています。今回は泣いているAくんを見て「何とかしなきゃ」という気持ちが芽生えたことで、みんなで解決へと導きました。一人だけでなく、みんなでお友達の気にかけて何とかしようとしたこの姿が、友達との関係性や心の成長を感じ、この1年間過ごしてきたいぶきぐみの育ちだと感じます。

“担任の思い”

いぶきぐみのスタートは「新しいことを何でもしたい」と意欲的で、何をするときも「やりたい！」ととても楽しそうでした。きゅうりの栽培からサンドイッチ作りやかっぱ探しへと繋がり、今もお部屋にいるガータロの頭を撫でたり、怪我をしたところをテープやバンドで治してあげたりしています。みんなの思い出の中にはそれぞれの楽しかったことがあります。みんなの共通した思い出として「かっぱ」があります。「えほんにかっぱのってた！」「このちずにかっぱがいるところのってるかも！」という会話は子どもと保育者だけでなく、子ども同士でも聞こえてきます。その共通した思い出を一緒に味わった経験があるからこそ、友達という存在が「安心できる」「いつも一緒」という気持ちが芽生え、友達との関係が深まってきたのだと感じています。ひかりぐみでは、一人ひとりの力が伸びていくとともに、この関係性が深まっていくことを楽しみに見守っていきたいと思います。

ねらい：「だいちぐみになることに期待を持つ」

う た：「みんなともだち」「こころのバトン」「園歌」

2月は節分や成長発表会、雪あそびと盛りだくさんな一ヶ月でした。日々の生活の中でも「もうすぐだいちさん」と子どもたちの声から聞こえてくることが増えました。ひかり組の1年をとおして“言葉で伝えること”から自分自身やお友達の気持ちを知って、みんなで力を合わせる経験をするこへ繋がる1年になったように感じます。だいち組になることへの期待感とひかり組として過ごす心地良さ感じながら残りの一ヶ月過ごしていきたいです。

“憧れから挑戦”

お部屋ではけん玉、こま回しがひかり組でブームになっています。クリスマスプレゼントで貰ったけん玉をするだいちさんを見て「どうやってするの?」「こうしたらいい?」と何度も聞いて何度も挑戦しています。なかなかできずにいる様子を見て丁寧に教えてくれるだいちさん。「でーきーたー!」「先生お皿にのるようになった!」と嬉しそう見せたり



と初めてこまを回すことができたお友達に「おめでとう!」「すごいやん!」と友だちができたことを一緒に喜び合う姿にとっても温かさを感じました。「もっとできるようになりたい」と何度も挑戦する姿が見られました。



“お手伝い当番”

2月後半からだいちさんにお手伝い当番を2人ずつ順番に教えてもらっています。お米とぎをしたり、机を拭いたり、お茶を準備をするだいちさんの姿を見ていた事もあり「知ってる!」とだいちさんの後をついてい



きました。実際に教えてもらおうと朝9時半からのお米とぎやお昼ご飯の盛り付け、ランチルームの掃除と魚のエサやりと「こんなこともしてたの?」と驚いていました。



「大丈夫?できそう?」「これはね…」と1つ1つ丁寧に教えてくれるだいちさんに「ありがとう」と優しさを感じる場面も見られます。

“担任の思い”

お手伝い当番を覚えてもらったり、だいちさんに向けての歌を歌う中で「もうすぐだいちさんいなくなっちゃうんだ…」と子どもたちも実感し始めているようです。「ずっと一緒だったもんね」「お散歩行ったり泥あそびもしたよね」とだいちさんと過ごしてきた日々を思い出す中で、「ぼくたちがいぶきさん時船作ったよね」「ひかりさんで夏に泥んこなったよね」と自分たちを振り返る話もしていました。同じ部屋で過ごす中で自然と幼児としてもクラスとしても“仲間”の意識がついているのだなと強く感じました。だいちさんへ送る歌の歌詞に「目にはみえないバトン」という言葉があります。だいち組と一緒に過ごした時に感じた憧れる気持ち、悔しかった気持ち、挑戦したい気持ちとそれぞれが感じたその思いがだいちさんへ、そしてひかりぐみのみんなにも伝わればいいなと思います。今の気持ちを大事にしながら、だいちへの期待、自分とお友達、自分自身と向き合う時間も過ごしていきたいです。

ねらい：「周りにいる人に“ありがとう”の気持ちを伝える」「小学校入学を楽しみに過ごす」

う た：「さよならぼくたちのほいくえん」「ありがとうこころをこめて」「だいすきだったしるし」

2月は小学校への交流があり、小学校生活を意識する機会もより増えました。園では“小学校ごっこ”として、45分間一つの活動を継続して行っています。自身の持ち物を連絡帳に記しておくことで、自身の持ち物への関心にも繋がったのではと思います。また、だいち組の役割として行ってきた“ごはん当番”やいぶきさんのお手伝いなど、「ひかりさんに教えてあげなくちゃ！」と気付き、ヘアのひかりさんと一緒に行いながら伝えてくれています。

雑巾の絞り方、いぶきさんが安心できる声の掛け方等、ひかりさんに丁寧に伝えながらも、だいちさん自身気付くこともあったのではと思います。小学校への期待が膨らんだ2月。3月は周りの方への“ありがとう”の気持ちに気付いたり、“生きていく力”を大切に、これから繋がる1ヶ月を過ごしていきたいと思います。

“郵便屋さん”

小学校交流の帰り道、郵便局の赤いバイクが止まっているのを見つけました。「ちょっと見せてもらおうか」と、誰も乗っていないバイクをだいちさんみんなで囲み、観察させてもらうことにしました。「後ろに郵便マークがある」「前のところも赤いね」とそれぞれ発見したことがあるようでした。郵便局の方が配達を終えて戻ってこられると、「あ！帰ってきちゃった！」と慌てながらも、お兄さんの着ている制服に「なんか、郵便局で見たのとは違うね」「かっこいいね」と見とれていました。翌日、別の小学校交流で出かけた先でも郵便局のバイクを見つけました。すぐ傍にいた郵便局の方に勇気を出して「郵便局のバイク、撮ってもいいですか」と尋ね観察させてもらうと、「昨日見たのと鞆のところが違う！」と違いを発見！お兄さんの服も違うことに気付き驚いていただいちさんでした。



思い返すと、だいちさんの郵便局ストーリーが始まったきっかけは一人の子が郵便ポストを作り、手紙への興味が湧いたところからでした。実際に遠くに住む方へ手紙で“ありがとう”の気持ちを伝えたり、郵便局に出かけて様々な絵の切手があることを知ったり、お泊り保育ではおうちの方に手紙を書いてポストに投函したりと、“郵便局”“手紙”“ポスト”が子どもたちにとって、身近なものとなりました。「積木で郵便局を作りたい」と子どもたちの興味はあそびとして今も継続しています。バイクで配達している郵便局の方を見て、「大きくなったら、郵便屋さんになりたいな」と夢を膨らませる子の姿もありました。

“ぼくのいのち”

小学校ごっこの中で聴診器を使い、友だちや自分の心臓の音を聴く機会がありました。どきどきわくわくした様子で耳にはめてみると、「…なんか、どっくんどっくんって速いよ」と嬉しそうな表情。“生きている”“命は大事”とただ言葉で伝えられるよりも、自分の耳で聴いて触れて感じたことは、きっと一人ひとりの心のどこかに残ってくれていると思います。保育園の中では生まれて間もない赤ちゃんや、お腹の中に赤ちゃんのいる先生と



触れ合う機会もあります。赤ちゃんが生まれることの不思議や命が誕生する喜びを、すぐ傍で感じられる環境の中で、自分たちが生まれた時のことや、産んで育ててくれたおうちの方の大変さ、愛されている心地よさを改めて感じられればと“命”を感じられる機会を設けました。卒園式で周りの方々に伝えたい気持ちを尋ねた際には、「いっぱいぎゅうしてくれたよ」「がんばってぼくのことを生んでくれた」と話していました。きっと記憶には残っていないけれど、愛情いっぱい成長を見守って来られたおうちの方の想いを、だいちさんはしっかりと感じているようでした。

“担任の思い”

卒園を目前に控えた今の時期だからこそ、ここまで成長するまでに沢山の方の存在や想いがあったことを、大切に感じられるのだと思います。照れくさくてなかなか言葉にして伝えられないことも、卒園式では言葉や歌にのせて伝えられるのではと子どもたちと考えているところです。小学校入学への想いは、だいちさんも、保護者の方々も決して“期待”だけではないかと思っています。そんな中で、自分で解決しようとする力や、人に助けを求められる勇気、周りの人に手を差し伸べられる心、相手を許すことの出来る優しさなど、それぞれの“生きる力”をこの6年間で身に付けて大きくなっただいちさんには“大丈夫”という言葉で背中を押して送り出したいと思います。

保護者の方からのおはなしコーナー

ひかり組までは色々な面で甘えたり頼りなかった息子ですが、だいち組になり「今年は違う、頑張る」と言い切っていました。

その言葉通り、今まで見た事のないがんばりを一年を通して見せてくれました。その成長を本当にうれしく思います。先生方、ありがとうございます。

だいち組 まきさん

ふたば組から入園した息子も今月で卒園となります。だいち組になってからは、色々なことにチャレンジしけん玉、こま、竹とんぼと昔遊びに夢中です。保育園で過ごす時間が長いこともあり、日に日に上達していく姿に成長を感じます。

上の息子からお世話になり、私自身もこれで卒園です。かえで保育園の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

だいち組 ますみさん

いつまでも赤ちゃんだと思っていましたが、気づけば三才。最近では「〇〇くんと〇〇したー」「今日な〇〇でな〇〇してん！」など必死に伝えようとしてくれてそのお話を聞くのが一日の楽しみです。めばえさん、ふたばさんに優しく接してあげている姿は、大きくなったなあとジーンとします。4月からは幼児さんになり「あ！えんしてたらお兄さんになれない！」と本人も分かっているようなのでこれからも自分のペースで成長していってもらえればと思います。

つぼみ組 ゆかさん

「いぶきさんだもん」と言いながらがんばった一年でした。

水に顔をつけられるようになったり、自分で身体と髪を洗ってタオルでふけるようになったり、下の子に優しくできるようになったり。

「いぶきさんだから」と思うとがんばれるみたいです。

お友達の存在や、先生方の励ましが心の深いところで娘の支えになり、力になってくれています。

いぶき組 けいこさん

入園した頃はまだ赤ちゃんだった息子も、ずいぶん大きくなり、最近では洗濯物をたたんだり、掃除機をかけたいとお手伝いをしてくれるようになりました。

(本人は遊んでいるだけかも知れませんが…)子どもの成長の早さに驚きつつ、もっとゆっくり大きくなって欲しいなあとという複雑な気持ちです。

たくさんのお兄ちゃん、お姉ちゃんに可愛がってもらって楽しそうにしている姿を見ると、かえで保育園に入れて良かったなと感謝しています。

めばえ組 みよこさん

毎朝「いってくるね」と声をかけると「ママ、いってらっしゃい。おしごと頑張ってるね」「車に気をつけてね」とやさしい言葉を返してくれます。

保育園での生活を通して、身体だけではなく、人を思いやる心も育まれているのが実感でき嬉しく思っています。

ひかり組 とみこさん

～お台所から～

だんだんと寒さも和らぎ、少しずつ春を感じる季節になりましたね。今年度も早いものであと1ヶ月。一年が本当にあっという間に過ぎてしまいます。3月の献立では、ひな祭りの集いの日に「ちらし寿司」と、おやつは、ほうれん草とトマトのペーストを練り込んだ「三色団子」を予定しています。又、少しずつ春の食材も献立に取り入れて、子どもたちと春の旬の味を楽しみたいと思います。

<2月の食育の様子>

- ・節分の日のメニューに巻き寿司をし、幼児クラスは巻き寿司をかぶりつく経験もしました。具材も卵、かんぴょう、人参、きゅうり、干しいたけをいれた太巻きでしたが、大きな口を開けて食べてくれていました。又、今年の恵方（南南東）に向いて食べている子もいました。おやつは炒り豆をだいち組は自分たちでホットプレートで炒って食べました。豆を炒ることで鬼に投げた後、豆から邪気が芽吹かないようにすることや、鬼は魔物なので魔の目をつぶすということから豆を投げることなどを伝えると「よし、鬼の目に投げるぞ」と話している子もいました。
- ・今月のお誕生日会のメニューは初メニューでハンバーガーにしました。幼児クラスの子どもたちは自分たちでハンバーガーのバンズにハンバーグとチーズを挟んで食べました。「見て、こんなんできたよ」と出来上がったハンバーガーを嬉しそうに見せてくれたり、「めっちゃ美味しかった、また作って」と大人気でした。誕生日ケーキは、いちごとりんごを使ったケーキにしました。子どもたちは毎回楽しみにしてくれていて、誕生日会の前の日に「明日のケーキはどんな果物がのってるの?」「果物いっぱいがいいな」と料理の部屋に話に来る子もいました。りんごは薄く切り、いちごは葉つきで丸い円形状に盛り付けると出来上がったケーキを見た子どもたちは「大好きないちごのってる」「りんごがお花みたいになってきれい」など感じたことを話してくれました。

<3月旬の食材>

さわら、新ごぼう、新玉ねぎ、菜の花、スナップエンドウ、いちご、いよかん、デコポンなどを予定しています。

<3月に予定してる食育>

- | | |
|----------------------|------|
| ・おやつのかっぱ巻きを自分で巻く | いぶき組 |
| ・じゃがいもの皮むき | ひかり組 |
| ・味噌作り | ひかり組 |
| ・はくさいをちぎる | つぼみ組 |
| ・たまねぎの皮むき | ふたば組 |
| ・劇に登場した野菜を全て使ったクッキング | だいち組 |

その他にひな祭りのちらし寿司が出てくる絵本を読んだり、魚の解体ショー、だいち組からのリクエストメニュー、お別れパーティーも予定しています。

子どもたち自身が考えて、どんなメニューになるか楽しみにしててください。

後日お知らせします。



2月の誕生日ケーキです



節分の日の巻き寿司です



大豆を炒りました



- 1日より30年度の新入園児の面接が始まります。
- 17日(土)は卒園式です。
ひかり組はだいち組の門出を一緒にお祝いたします。
詳しくはお手紙でお知らせします。
めばえ～いぶき組のお子様は家庭保育にご協力をお願いします。
- 19日(月)から進級クラスで過ごします。
- 28日(水)は全園児お弁当日です。
お弁当の用意をお願いします。
幼児クラスはお別れ遠足に出かけます。
- 4月2日(月)は入園式です。
- 30年度の新入職員の研修が始まります。
新採用は2名となります。よろしくをお願いします。
- 30年度の延長保育の利用申し込みは、再度提出いただきます。また、土曜保育の確認もさせていただきます。
30年度の緊急連絡票を配布します。

こんなことしたよ♪

6日(火)に節分の集いがありました。鬼はどうしてやってくるの?どうやって追い払うの?と様々な話を聞き、昼食には巻きずしを南南東に向かって食べました。みんな静かに、黙々と食べ進めていました。そしておやつ前、ドキドキしていた鬼の登場に大興奮の子どもたち。泣いたり叫んだり、中には抱っこされてしまう子も…。それでも「おには～そと～」と元気いっばいな声で追い払っていました。鬼がいなくなると「なんかスッキリした～」と言う子どもたち。きっと保育園の悪いものを全部持って帰ってくれたんでしょうね。



14日(水)にはひかりとだいち組で六甲山まで雪あそびに出かけました。

天候にも恵まれ、ぽかぽか暖かい中、そり遊びを楽しみました。ひかりとだいちさんとペアになると、だいちさんが率先して滑り方を教えてくれていました。たくさん雪に大喜びだった子どもたち。そり遊びだけではなく、雪合戦や雪だるま作りなど雪あそびもたくさん楽しみ大満足した様子でした。ウェア等のご準備ありがとうございました。



☆お願い☆

- つぼみ組～新年度の必要な物品を購入していただきます。クラスによって必要な物が異なりますので掲示物や別紙を参考にご確認ください。
- 進級移行のため、3月19日からお部屋の移動があります。朝の準備や荷物の置き場所、帰る用意等を各クラスよりお伝えしていきますので、ご確認ください。詳しい日程はポップにてお知らせします。また、進級に向けて3月16日までにお子様のロッカー内を整理し、名前、サイズのご確認をお願いいたします。



《3月の予定》

- 1日(木)メヌエツ訪問(だいち)
- 3日(金)ひな祭り
- 5日(月)ひかり・だいち酒蔵見学
- 8日(木)だいち園外保育
- 12日(月)誕生日会
- 13日(火)絵画
- 14日(水)白鹿合同震災訓練
- 17日(土)卒園式
めばえ～いぶき歳以下のクラスは家庭保育となります。
- 19日(月)お別れパーティー
- 26日(月)～30日(金)
30年度のクラス担任と過ごします
- 28日(水)お別れ遠足
お弁当日です

*1・8・15・22日 体操

《4月の予定》

- 2日(月)入園式
進級式
- 3日(火)新入園児慣らし保育開始

